

保護者向け 令和7年度 豊島区立巣鴨小学校 学校経営方針

「学校大すき 巣鴨っ子」 教師と児童、児童相互、学校と保護者・地域の信頼関係（人権意識の高揚・人権感覚の醸成から生まれる人間関係及び向学の精神）

主体的な判断の下に行動する「学校大すき 巣鴨っ子」の育成（人に優しく・自分に強く・明るく元気）＝自主・自立・自律
「自分の意思で行動を決定する」「自分が学級や学年にいてよかった」「どうすればできるようになるのかを皆で考える」「多様性を認め合い、学校生活をつくり上げる」⇒ 学校が楽しいと思えるよう。

べんきょうがすき

- ◎ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導を充実させます。
 - 基本的な学習の流れ
 - 1 問題を把握する。
 - 2 一人で考える。
 - 3 みんなで考えを共有したり、話し合ってみたりする。
 - 4 もう一度、自分の考えをまとめる。
 - 5 問題を解決したり、他の問題にチャレンジしたりする。
 - 6 学習を振り返る。
 - 考える学習の展開
 - ・他に考え方はないか？（様々な考え方への促し）
 - ・本当にこれでよいのか？（見直しや遂行への促し）
 - ・筋が通っていて、分かりやすいか？（相手意識への促し）
- ◎ **自己有用感・自己肯定感を育てる学習指導を充実させます。**
 - めあてを明確にした授業（45分授業の確実な実施）
 - ICTの活用・板書を工夫した分かりやすい授業
 - 習熟度別指導、個に応じた指導を行い、**自分ができるようになった・自分ができる（自己効力感）**と実感できる授業
 - 協働的な学習による、自分が役に立ったと思える授業（自己有用感）
 - 学校図書館を活用した授業
 - 地域や保護者、異学年への発表（相手意識・目的意識）
 - SDGsの概念を踏まえ、社会や環境と関わる体験を含んだ授業の実践

研究・研修

- ◎ 校内研究を進めます。
 - 研究主題
 - 生き生きと学びに向かい、思いを表現する子供の育成**
 - ・ 副主題
 - ～ 共に学び合い、伝え合う活動を通して ～
- ◎ **保幼小・小中の連携を進めます。**
 - 近隣保育園・幼稚園とのカリキュラムの連続性
 - 小中連携推進校として、西巣鴨中学校・朋有小学校との授業・行事の連携
- ◎ 外部研究会・研修に参加します。
 - 教師としての専門性の向上
 - 豊島区立小学校教育研究会への参加、東京都教職員研修センターの研修会への参加
 - ・ 教科指導・教育課題への対応

友だちがすき

心の教育の充実

- ◎ 人権感覚の向上を図ります。
 - 道徳科の授業を要として、全教育活動を通して心を育てる教育
- ◎ **自己肯定感・自己効力感を育てる心の教育**
 - やればできると思えるような機会・課題の設定
 - 自分の伸びを感じられる振り返りと新たな目標の設定
 - ⇒ 「〇〇ができた」「〇〇までできた」⇒ やりきる経験
- ◎ **自他を尊重し、互いを認め合える自己有用感を育成します。**
 - 挨拶運動を通じた取組の推進 ⇒ 「返事」・「ありがとう」
 - 規則・マナーを守ろうとする規範意識の育成
 - 「巣鴨スタンダード」の活用
 - 多様な人間関係づくりができる活動の充実（なかよし班・委員会活動・クラブ活動・巣鴨会議・学校行事など）
- ◎ **いじめ・不登校〇を目指して組織的に取り組みます。**
 - スクールカウンセラーや関係諸機関とも連携する組織的な取組
 - いじめの早期発見・早期対応・早期解決を図る取組（いじめ防止授業・全員面談）
 - インターネットやSNSの活用に対する情報モラル教育の充実と家庭との協力
 - 登校しぶりが見られたときの家庭と連携した早期の組織的対応
 - 「学校が楽しい」と思えるような教育活動の工夫

特別支援教育

- ◎ 個別に計画を立てた指導を実施します。
 - 学びやすい教室環境の整備
 - スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門家による助言に基づく、指導内容・方法の改善
- ◎ 特別支援教室の指導を充実します。
 - ねらいと手だてを明確にした授業の実施
 - 巡回指導教員（特別支援教室の指導員）と通常の学級との教員間で話し合いによる通常学級の指導の充実
- ◎ 病気やアレルギーの症状が見られる児童への対応を徹底します。
 - 保護者との十分な情報共有（給食の提供、服薬・エピペンの扱い）
- ◎ 悩みをもっている児童の指導に取り組みます。
 - 家庭だけではなく関係諸機関と連携を取り、チームで対応

うんどうがすき

- ◎ 日常的に体力向上を図る取組を実施します。
 - 休み時間の外遊び・体育館等での遊びの励行
 - 放課後や休日の過ごし方の啓発
- ◎ **体力調査の分析結果を生かした取組の実施**
 - 体育の授業における補強運動の計画的な実施
 - 運動が楽しいと思えるような取組の実施
 - ⇒ なわ跳び期間・持久走期間
- ◎ **自ら心身ともに健康的な生活を営もうとする指導を推進します。**
 - 健康を考えた食事の大切さの指導
 - 食を通じた多様性や地域性、伝統と文化の理解
 - 十分な睡眠・休養が情緒の安定・学力の向上につながることを指導
 - 手洗い・うがいの励行
 - **自分の命は、自分で守る意識**を育てる指導

開かれた学校づくり

- ◎ 学校評価に基づき教育活動を改善します。
 - 学校、児童、保護者、地域の四者によるアンケート結果の分析及び改善
 - お便りやホームページ、Classroom（すぐーる）を活用した適時・適切な情報の送信
- ◎ **確かな学力を育成します。**
 - 家庭や児童へ、評価の観点等の事前提示（シラバス）
 - 家庭学習の習慣化に向けた家庭との連携
- ◎ **地域を愛する児童を育てる学校づくりを進めます。**
 - 挨拶運動へのご協力の依頼
 - PTAや地域との連携
 - ・ 大塚阿波踊り等の地域行事や事業への参加
 - **巣鴨サポータークラブへの参加・教育活動の公開**
 - 地域と共同で行う防災・不審者対策
 - 次世代の地域の安全・安心を支える人材としての指導

安全・安心な学校：すべての児童が、学ぶ喜びと希望をもっている学校 保護者・地域と共につながり、子供の成長を喜び合う学校